

(20.9%)、女性は68人(79.1%)であり、全体では女性回答者の割合が多い。職種別でも、「寮母職」は女性が圧倒的多く(女性86.4%、男性13.6%)、「生活指導員」においても、女性回答者が多い(女性55%、男性45%)。

表1 職員の職種と性別

	寮母職	生活指導員	全体
男性	9 50.0% 13.6%	9 50.0% 45.0%	18 100.0% 20.9%
女性	57 83.8% 86.4%	11 16.2% 55.0%	68 100.0% 79.1%
合計	66 76.7% 100.0%	20 23.3% 100.0%	86 100.0% 100.0%

無回答=6

3 年齢

年齢構成をみると、「41～50歳」が30.4% (28人)で最も多い。次いで「21～30歳」の28.3% (26人)、「51～60歳」の26.1% (24人)、「31～40歳」の13% (12人)と続き、「20歳以下」、「61歳以上」はどの項目も10%未満である。つまり、全体の年齢層は20歳代と40歳から60歳を山とする「M字型」になっている。

4 最終学歴

回答者の最終学歴については、「高校卒」が51.1% (47人)でもっとも多く、次いで「短大、専門学校卒」が22.8% (21人)、「大学卒」が19.6% (18人)、「義務教育終了」と「その他」が各3.3% (3人)で、「大学院卒」はいない。

「短大、専門学校」と「大学卒」を合わせて39人(42.4%)で、回答者の半数以下であった。

また、職種別で見ると、6割以上の「寮母職」の学歴が「高校卒」以下に対して、8割以上の「指導員」が「短大、専門学校卒」以上の学歴を持っている。以上のことから、指導員の方が高学歴である。

5 専攻分野

4の「最終学歴」で「高校卒」以上の学歴を持つ回答者(86人)に対して、「専攻分野」という質問を設定した。

全体では、「その他」¹⁾を除いて、「社会福祉」を専攻した人が17.4% (12人)で最も多く、続いて「家政学」が11.6% (8人)、「児童・保育・幼児教育」が8.7% (6人)、「介護福祉」が7.2% (5人)、「教育学」が2.9% (2人)である。

「社会福祉」と「介護福祉」専攻を合わせて、24.6% (17人)の回答者が専門的な教育を受けている。職種別で見ると、「寮母職」では20%、「指導員職」では36.8%が専門的な教育を受けている。

6 資格取得状況

全体では、「介護福祉士」が45.7% (42人)で最も多く、次いで「社会福祉主事任用資格」が27.2% (25人)、「保母」が8.7% (8人)、「その他」²⁾が7.6% (7人)、「ホームヘルパー」が4.3% (4人)、「社会福祉士」が2% (2人)である。資格を「持っていない」人はわずか18.5% (17人)である。

7 現施設での在職年数

在職年数については、全体では「1年～5年」が29人(31.5%)で最も多い。次いで、「6年～10年」が20人(21.7%)、「11年～15年」と「16年以上」も17人(18.5%)、「1年未満」が9人(9.8%)である。

(2) 仕事に対する思い

1 就職当時の希望度(希望度)

「就職当時、この仕事をどのぐらい希望していましたか」という質問に対して、「ある程度は希望した」と答えた人が52人(59.8%)で半数を超えて最も多い。また、「強く希望した」と「ある程度は希望した」の回答は合わせて「希望した」と答

1) 専攻分野の「その他」の内容については、「商業科」(8人)と「普通科」(7人)が最も多く、「英語科」、「農業科」、「生活科学」、「生活文化」、「国際学部」、「外国語学」、「法学」、「経営学」、「文学部史学科」がそれぞれ1人ずつである。

2) 資格取得状況の「その他」の内容について、「教員免許」(2人)、「栄養士」(1人)、「大型自動車免許」(1人)、「普通自動車免許」(1人)が挙げられている。